

寝室と階段の天井に付けてますか？



# 住宅用火災警報器

5月末までの設置が義務付けです。

3月1日(火)から7日(月)までの一週間は、「春季全国火災予防運動」です。市内では昨年以降、建物火災が増えています。火の元への一層の注意と、万一のときのための住宅用火災警報器の設置をしましょう。

火事です  
火事です

**寝** 室や階段の天井に取り付ける「住宅用火災警報器」(上の写真)の設置をお願いします。  
建物火災で死に至った原因の6割が「逃げ遅れ」といわれています。この警報器は、火災による煙や熱を感

知し、「火事です。火事です」と、早期に音声で火災の発生を家人に気付かせる機能を備えています。条例で、今年5月末までに全ての住宅への設置が義務付けられています。

電量販店やホームセンターなどで販売していますので、認定マーク(次ページの上段)の入ったものをご購入してください。ドライバーがあれば、簡単に取り付けられます。価格は1個3000円から9000円程度。

## 住宅用火災警報器 (一例)

万一のとき、火事の発生を音声で知らせてくれるもの。家電量販店やホームセンターで購入するときには、下の認定マークのあるものをご購入してください。



**3** 月は一年のうちで最も空気が乾燥し、火災の起こりやすい状態になります。火の取り扱いには十分注意してください。  
お出かけ前や就寝前には今一度火の元の確認を行いましょう。家の周りには燃えやすい物を置かない放火対策も行いましょう。  
また、次のような習慣付けをしましょう。  
★寝たばこは、絶対やめる。  
★ストーブやファンヒーターなどの暖房器具は、燃え

やすいものから離れた位置で使用する。  
★ガスコンロから離れるときは、必ず火を消す。  
3月1日(火)から7日(月)までの一週間、「消したかな」あなたを守る合言葉」を統一標語に、春季全国火災予防運動が全国一斉に展開されます。市消防本部では、福祉施設での消防訓練や住宅防火診断など、火災予防の啓発に取り組みます。  
問い合わせ 消防本部予防課 (☎92-8343)



心肺蘇生の訓練で使う人形(写真右下)と、婦人消防用法被42着(写真左)を宝くじ助成金で整備しました。  
人形は、AED(自動体外式除細動器)の使用方法、成人から小児までの心肺蘇生法の学習で活用します。  
婦人消防用法被は、市内の婦人防火クラブへ配布し、防火意識の啓発に活用していきます。

## —平成22年中の市の火災・救急・救助—

### ■火災

火災件数は30件です。前年と比べ2件減少したものの、建物火災が5件増えて20件発生。内7件(11棟)が全焼火災でした。死者1人、負傷者5人、建物火災損害額は前年比約30倍、焼損面積は前年比約9倍と増大し、物的にも人的にも多大な被害が発生しました。

### ■救急

出動件数は2595件です。前年と比べ205件の大幅な増。1日当たり平均7.1回出動していることとなります。搬送人員は、2517人で、そのうち高齢者(65歳以上)が1371人と、約半分を占めています。

原因別では、急病が1537件と約6割を占めており、以下、交通事故344件、一般負傷289件などとなっています。

前年に比べ205件の増は、新総社市になって過去最高の増加数です。また、記録的猛暑による熱中症や熱中症の疑いが、前年比の約4倍(67人)でした。

### ■救助

出動件数は55件。前年と比べ15件の減少で、約7割が交通事故によるものです。救助した人数は35人。

問い合わせ 消防署 (☎92-8346)

### ■宝くじの助成金を活用

#### 心肺蘇生訓練用資器材と婦人消防用法被を整備

